

た の

ね

楽

し

い

音

!

通常登校が始まり、3週目も終わりました。音楽の授業も、全学年で実施しました。

久し振りに音楽室に来た2年生以上の子供達の様子を見て、懐かしく感じました。今思うと、長い間、授業ができなかったことへの少し残念な感情なのだと気付きました。

「久し振りに歌える！」と喜ぶ子、「何でこんなに椅子が離れているの？」と驚く子、今までの音楽室での約束事をしっかり守って話を聞く子、“今”できることに精一杯に取り組む子、少し不安そうな表情をする子・・・まさに十人十色の反応や表情でした。



初回の授業では、音楽室での過ごし方・音を大切にすること・1年間で“できるようになること”の確認をして、少し学習内容を進めました。

私は、毎時間、椅子等の消毒をしているのですが、どのクラスの子供達も「先生、ありがとうございます。」や「先生、いつも丁寧ですね。」等と声を掛けてくれます。“当たり前”と思ったことでも、子供達のたった一言で、とても清々しい気持ちになります。



2回目からは、情勢を鑑みて、授業で取り組めることを進めています。

1年生：明るく元気な声で、生き生きと歌っています。拍の流れにのって歌うこと、拍打ちに慣れることができるようになりました。また、正しいリズムで歌うこともできています。これからは、一人一人の“できること”を伸ばしていけるように指導していきます。

2年生：「せかいの国の いろいろなおどりの音楽」では、たくさんの世界の踊りの音楽について調べ学習をしていた子供達がいきました。その子達の頑張りを紹介しながら、みんなで教科書には掲載されていない「世界の踊りの音楽」を映像で観たり、聴いたりしました。声だけでも迫力があるニュージーランドの「ハカ」を、全員が集中して聴いていました。

3年生：初めて学習したリコーダー。シ・ラ・ソの指づかいに慣れ、正しい姿勢・正しい啜え方・息の強さに気を付けて演奏しています。まだ息が強くなってしまふこともあります。一人一人が丁寧に演奏しようとして心掛けていることが伝わります。また、伸びやかで無理のない声で歌うことも頑張っています。



立川市立大山小学校
音楽科通信 第15号
令和2年7月3日
音楽科 大野 智子



4年生：「8分の6拍子」という新しい【音楽の特徴】を学習しました。「ゆったりしている。」と感じた子、「2拍子の指揮と同じなの？」と驚きながらも新しい発見をした子、「3拍子でも数えられるよ。」と数え方を工夫していた子・・・



今までの学習を振り返りながら、学習を深めていました。

【曲に合った演奏表現をする】ことに着目して、歌い方・リコーダー演奏の仕方を工夫していました。1番人数が多い学級だからこそ、まとまりのある演奏表現に繋がるようにしていきたいです。

5年生：弦楽器、オーケストラの鑑賞をしました。たくさんの子供達が【音楽的特徴】に気付き、自分なりの発見や驚きを見つけていました。「祝典序曲」という楽曲では、お祝いのために作曲されたことを学習しました。お祝いに関連付けて、来年度の（大山小学校）50周年に向けての話をしました。両クラスとも、意識を高くもって話を聞いてくれました。この1年間で、演奏表現の力を高めていくために、できることを増やしていくことを目標に、一緒に頑張っていきたいと思います、と話をしました。



6年生：ただ歌うだけではなく、5年間の振り返りを取り入れながら、学習しています。

特に【音楽記号】を理解して演奏表現できるように、1つ1つの記号の定着を図っています。中学校に向けての学習にも繋がると考え、筆記テストも始めました。1回目のテストでは「これができなかった。」「あと一歩だった。」等と悔しがる声、「やった。今回は自信があったからよかった。」「頑張ってたかった。」等と喜び声もありました。この音楽科通信が発行される日には、2回目のテストを実施していますね。

1回目よりも2回目、2回目よりも・・・と回数を重ねるごとに、よい結果に繋がることを応援していきたいです。



今般の情勢より、歌ったり楽器を演奏したりすることに（友達との距離、マスク着用での演奏表現、限られた活動内容等の）制限はまだあります。しかし、友達との距離の取り方・注意事項（演奏する時、音楽室から教室へ戻る時等）をしっかり守り、学習に取り組んでいます。

高学年では、距離を適切に保ちながら、リコーダーの二重奏・友達との意見交流にも取り組むことができています。

今後は「新しい生活様式」に即した学習内容の展開も考え、実情に合った指導ができるように考えていきます。何かお困りのことがありましたら、学校までお問い合わせください。